立花生徒会新聞 Trefle通信

Trefle最終号

今回でこの「Trefle通信」は最終号となりました。生徒会執行部では今年度も新聞の発行を行ってきました。私たちは、この新聞が少しでもみなさんの役に立てば良いなと考えながら、毎月試行錯誤を繰り返し作成してきました。この「Trefle通信」を通して、少しでも分かりやすく、立花中学校の情報を届けられていたら嬉しいです。この通信は、果たしてみなさんの役に立てていたでしょうか。

ところで、みなさんはこの生徒会新聞のタイトル「Trefle」に込められた想いを覚えていますか。このタイトルは一年前に執行部が、これからどのような立中にしていきたいかをテーマに、意見を出し合い決定したものです。私たちはこの言葉に、一年間で「仲が良く全員が輝ける学校」に近づきたいという想いを込めました。「Trefle」はフランス語でクローバーという意味です。クローバーは三つ葉や四つ葉が主流ですが、葉の数によって一つ葉から十つ葉までそれぞれに特別な意味が込められています。二つ葉の花言葉は調和です。調和には、全体が程よく釣り合い、矛盾や衝突が無くまとまっているという意味があります。全校生徒一人一人の力が集まれば、大きな力が生まれます。そうすればそこに調和が生まれます。お互いを高め合い、クローバー全ての葉に良い意味があるように一人一人が輝ける学校になるのではないかと考え、「Trefle」に決定しました。

実際にこの一年間、多くの行事が無事成功したのは三年生のみなさんを中心に、三学年が協力し合うことができた結果です。また合唱でもクラス全員が一つになり、調和のとれた歌声が体育館に響きました。その中で歌う生徒一人一人の姿が輝いていました。これもまた、クラス全員で協力し合った結果だと思います。協力し合う精神を今後も大切にしてほしいです。

最後になりましたが、一年間「Trefle通信」を読んでいただき本当にありがとうございました。これからも生徒会新聞をよろしくお願いします。

生徒会執行部から

現生徒会執行部の活動も終わりにさしかかっています。そこで、今年度の生徒会執行部からの言葉をまとめました。

「この一年間、私たち生徒会執行部にご協力いただきありがとうございました。色々な行事に関わることができ、私にとってとても有意義な一年になりました。本当にありがとうございました。」　立小川実帆

「この一年間、生徒会執行部で活動させていただき、様々な経験から自分を成長させることができました。この経験を来年度に活かしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。来年度も正副委員長会にご協力よろしくお願いします」　杉山駿介

「昨年度に引き続き今年度も生徒会執行部の活動に参加して、協力することの大切さを学ぶことができました。これからも協力することを忘れず、今後の学校生活に活かしていきたいと思います」　上杉雪翔

「私にとって、この一年は本当にかけがえのないものとなりました。充実した一年が過ごせたのも先生方や全校生徒のみなさんが協力してくださったからだと思います。本当にありがとうございました」今村香菜

「一年間の生徒会活動で様々な行事に関わることができ、多くの大切なことを学び、成長することができました。今後に活かしていきたいです。ご協力ありがとうございました」西村寿

「一年間、ご協力ありがとうございました。みなさんと活動していきながら、様々なことを学び、成長することができました。来年度も体育委員会にご協力よろしくお願いします」藤田碧海

「一年間、生徒会執行部として活動する中で学んだことや助けてもらったことを将来様々な場面で活かしていこうと思います。生徒会活動は貴重な体験となりました。本当にありがとうございました」帆北優生

「放送委員長として、委員会活動を行っていく中で自分に与えられた仕事の大切さを学ばせていただきました。この学びをこれからの学校生活に活かしていきたいです。来年度も、放送委員会にご協力よろしくお願いします」　山崎琴音

来年度の生徒会執行部にも引き続き、ご協力よろしくお願いします。

Trefle（テリーフ）の意味「調和」仲が良く全員が輝ける学校

第12号　平成30年12月21日　金曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

二学期を振り返って

二学期も終わりに近づいてきました。文化発表会が行われてから早くも一ヶ月が経ちましたが、みなさんは二学期を有意義に過ごすことができたでしょうか。中にはできなかったという人もいるかもしれませんが、ここで落ち込まずに次に活かしていきましょう。

二学期の大きな行事といえば、文化発表会だったと思います。今年度は、最優秀、優秀クラスのみ、文化発表会当日に合唱できるということで、どの学年もとても一生懸命取り組んでいました。そして、文化発表会を行ったことにより、学校全体が一つとなり、全校生徒が楽しむことができたと思います。今年は、私たち生徒会執行部も初めて文芸部と合同で劇に挑戦させていただきました。夏休みから練習や大道具作りなどの準備を行いました。初めはしっかりセリフを言うことができるのか不安でしたが、一人一人自分の役になりきることができて良かったと思います。

そして約一週間前には生徒会役員選挙が行われ、新生徒会執行部が決定しました。生徒会執行部として活動させていただき、とても良い経験ができたと思います。私たち生徒会執行部は行事一つ一つをやり終えた後にいつも反省を行ってきました。しっかりと振り返り、反省をすることによって次につなげることができるのだと思います。改めて振り返りをすることは、とても大切だと思いました。

その他にも、振り返りをするということは、たくさんのところで活かすことができます。例えば、勉強面にも役立つと思います。テストが終わってから数日後に解答用紙を返却され、間違ったところを理解してから次に進むのと、分からないままにしておくのとでは、大きく違いが出てくると思います。二学期の期末テストの結果が返却された今だからこそ、今までのテストをもう一度解くことで次の結果につながるのではないかと思います。

自分自身の二学期の反省をふまえて、三学期の目標を決めるのも良いと思います。三学期に向けて有意義な冬休みを過ごすようにしましょう。

一・二年生へバトンタッチ

今月の七日に行われた生徒集会、生徒会役員選挙で新生徒会執行部が決定しました。そして、現生徒会執行部は新生徒会執行部へ引き継ぎを行っています。二年生は、三年生が卒業すると四月から最高学年になり、一、二年生の見本として、注目されることも多くなると思います。また、一年生は二年生となり初めて後輩ができ、先輩になります。まだ早いと感じるかもしれませんが、今のうちに先輩から後輩に対する姿勢について聞いておくのも良いかもしれません。三年生は、三年間の中学校生活で学んだことや気付いた大切なことを卒業までに一、二年生に伝えていきましょう。一、二年生はこの一年間で先輩から学んだことや教えてもらったことを来年度の学校生活に活かし、後輩に伝えていってください。

ところで、みなさんは「大器晩成」という四字熟語を知っていますか。お寺にある鐘のように大きなものは、じっくり時間をかけなければ完成しません。同様にして、結果を残す人は、時間をかけて実力を養っていき、後に成功するという意味を持っています。これは、私たちにも当てはまると思います。一、二年生は学年が一つ上がり、先輩や最高学年になりますが、初めから完璧にはできないと思います。ですが、少しずつ経験を積んでいくことで、より良い先輩になることができると思います。

また一、二年生は委員会活動や行事などで協力し、支え合う三年生の姿を見てきたと思います。このような活動は、自分一人が頑張っても成功することはできません。一人くらい何もやらなくても何も変わらないと思っている人がいると支え合うことはできなくなってしまいます。来年度も協力し合う精神を大切にして、学校生活を送ってください。

一、二年生はこれからも立花中学校の生徒の一人として、一つ一つ責任を持って行動するようにしましょう。また、これまで先輩方が築き上げてきた挨拶や協力し合う精神などの伝統を引き継ぎ、来年度もより良い立花中学校を創りあげていってください。

編集後記

みなさんは大晦日に「ガキの使いやあらへんで～絶対に笑ってはいけない二十四時（以下ガキ使）」と「紅白歌合戦」のどちらを見ますか。ちなみに執行部はガキ使が三人、紅白歌合戦が五人でした。年末年始は特別番組がたくさんありますが、ダラダラせずに勉強もするようにしましょう。（西村・立小川・今村・山崎）